

■一般社団法人 鹿児島県作業療法士会 理事会 議事録

日時：令和4年12月19日（月）19：00～

場所：Web 会議

出席者：吉満・藤田・福永・西・柳田・黒木・住吉・坂下・日高・永山・小澤・田中・深見・峯戸松
濱添

欠席者：安藤

報告

報告事項1

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：年会費納入状況について

内容：R4.12.19現在 総会員数1185名中1028名納入済み（86.8%）

未納者へは12/1に督促状を再送しました。

報告事項2

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：退会者について（1名）

内容：宮原夢叶（みやら ムカ）希望ヶ丘病院 退会理由記載なし

報告事項3

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：後援依頼承諾について

内容：南九州ME研究会 第12回呼吸療法セミナー（2023.3.18開催）

始良地区医師会 帝人ファーマ共催 鹿児島始良地区痙縮治療セミナー（開催日未定）

報告事項4

提出者：西 綾

士会内での立場：副会長

報告：南薩支部の研修

内容：2022年11月24日（18：30受付～21：00）

『足の構造と上肢の関連性について考えよう（WEB）』講師：西

申し込み21名のうち参加17名 詳細は研修報告書にて

報告事項 5

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報 告：県学会

内 容：1. 第33回鹿児島県作業療法学会（回数について要確認）

- ・令和6年度に予定
- ・学会長の選出を検討中

報告事項 6

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報 告：学術誌：

内 容：Vol.29：新規投稿数：0件

現在：採択1件、査読中1件

特集テーマ：(案) 地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割

記事1：地域包括ケアシステムにおける作業療法の実践 (案)

執筆者：肝付 氏 (みなと病院)

記事2：地域で求められる作業療法士とは～理学療法士の視点から～ (案)

執筆者：白濱 氏 (株式会社 和月)

記事3：地域で求められる作業療法士とは～作業療法士の視点から～ (案)

執筆者：住吉 氏 (池田病院)

特集原稿締め切り12月末を予定

令和5年3月に発刊予定

報告事項 7

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報 告：研究支援事業：

内 容：

1. 研修会報告

①第4回研修会

タイトル：研究法に必要な統計について学ぶ

開催日時:令和4年11月30日(水) 19:30~21:00

場 所:個別 web 受講

講 師:平賀 勇貴氏 会員番号 40884(福岡国際医療福祉大学医療学部作業療法学科 助教)

研修目的: 研究法に必要な統計の理解を深める

研修内容: 近年, 根拠に基づく実践が浸透し, 作業療法においても根拠が求められるようになっている。その根拠を明らかにするためには研究が必須であることから, 研究の種類や様式を理解することは重要である。また, 研究により得られたデータ(何らかの目的のために取得された数値や符号の集合体)から確率的な説明をするためには統計学の理解が必要となる。私は統計学者ではないが, 作業療法士のための研究に必要な統計学について提示していく。

参加者: 15名

アンケート結果: 研究デザインの選択後の統計手法の選択に難渋している方が多い印象だった。今回の研修を通して, 統計手法の選択方法から解釈の仕方を馴染みのあるツールである Excel を使用した方法にて, 初心者でも理解しやすい内容でレクチャーされたことにより, 今後の学術の研鑽における糧になるといったポジティブな意見が多く聞かれた。

一方、「速度が速く十分に理解できなかった」、「まだ難しいと思った」といった意見もあった。

2. 今後の研修会予定

①第5回研究法研修会: エキスパート向け

タイトル: 私の臨床研究 上肢運動麻痺回復への挑戦 ~エビデンス構築・効果拡大をもとめ~

開催日時: 令和5年2月3日(金) 19時30分~21時

講 師 : 野間 知一氏 (日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科)

※近々ポイント申請予定

3. 研究相談会: 案内を広報中

4. 課題研究助成制度

研究助成承認: 加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ: 中枢神経系疾患を伴う対象者に対し, 手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間: 令和4年6月~令和6年5月まで 制度を実施中

進行中

報告事項8

提出者: 柳田信彦

士会内での立場: 学術部担当

報告：学術部コンテンツ

内容：11月に6本の動画を更新した。

現在アップした動画をまとめたダイジェスト動画（案内用）を作成中

報告事項9

提出者：坂下寛志

士会内での立場：広報部理事

報

告

:

① 令和4年度 第3回市民健康まつり実行委員会・反省会

次回、企画として「Medkids」というテーマで健康に興味を持ち、さらに医療従事者の仕事に興味を持ってもらい、将来の夢につなげる事業としたいとのことでした。

>次回、小児分野の方にも協力を依頼したいと考えています。

② ビブス購入

前回、イベント参加でのビブス購入を検討、承認を得られたので参考までに

1着 2,470円(税込) > 10着購入予定(次年度)

③霧島市健康福祉まつり 2月13日(日)

始良・霧島地区の県士会スタッフの協力依頼をLINE@・代議員DRにて広報、また理事からも地区の方々

へ協力をお願いします。

報告事項10

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部理事

報告：

研修会報告①

タイトル：「覗いてみよう！OTが考える療育活動の課題設定～個別課題設定編と小集団の課題設定編～」

主催：鹿児島県作業療法士協会 地域リハビリテーション推進部 発達支援K-OTチーム

場 所：Zoom による配信

対 象：作業療法士、他療法士、児童発達支援事業所・放課後デイスタッフ

定 員：100 名（申し込み： 83 名）

参加者：72 名（内訳：本県協会員 31 名／他県士会員 2 名／非会員 2 名 他職種 37 名）

講 師：金子 信夫（鹿児島県作業療法士協会会員/フリーランス）

眞田 俊介（鹿児島県作業療法士協会会員/鹿児島県子ども総合医療センター）

反省点・検討課題：

- Web での受付方法の検討。参加者確認に時間を要す。例えば、非会員以外の参加者の確認には、研修 Web のログイン後に所属と名前をチャットにて返信してもらい、それに基づいて確認を行う。また、ナンバーリングをしたいが、そもそも、ご自身で Zoom の名前の変更をできない方が数名いた。（事前配信テストをしたが不参加の方はできていない）
- 協会会員の確認の簡素化
- 参加費入金期限が申し込み時とイベントペイでの期限にずれがあり、認識不足も重なり、支払い後の確認の漏れていた方がいた。
- 運営のスムーズな対応の為、受付や進行するスタッフは同じ会場が良いのでは？Teams 上での受付ファイルを Zoom 画像を確認しながらでは難しい。（2 画面表示が必要）
- サテライト会場の検討（参加者や研修内容の拡大が図れるのでは）
- 良い点として、②件数連続で、非会員も数名参加。
- 会員は m3.com での後日閲覧が可能であるが、アンケート結果からも、非会員や他職種も期間限定で閲覧可能にできないか？

研修会報告②

タイトル：かごしま認知症 OT ネットワーク交流会

主 催：地域リハ推進部 認知症 OT ネットワーク

場 所：自宅 リモート(ZOOM)

対 象：鹿児島県作業療法士協会会員、作業療法学生、保健福祉関係者

開催日時：令和4年12月10日（13時00～21時30分）

参加総数：23 名（県内 20 名 県外 3 名）

感想：

- 領域や分野が異なっても、認知症の携わる OT の内容は同じだと感じました。
- 貴重な機会をありがとうございました。
- コロナ禍の中、様々な領域で活躍されている OT の方が臨床でどのように取り組んでいるかを知ることができ有意義な時間でした。領域や県や市を越えた繋がりを活かせるよう今後も頑張りたいと思います。
- 交流会を通して他の施設や病院での取り組み、他県の方のお話を聞く等貴重な体験をさせていただきました。今後の業務に生かしていくことができるよう頑張っていきたいと思います。

- 具体的な実践や取り組みを聞くことが出来、有意義な研修会でした。
- 懇親会だけ参加させていただきました。ありがとうございました。また、機会があればよろしくお願いたします。
- 高次脳機能障害に対する生活支援について知りたいです。

報告事項 11

提出者：黒木貴博

士会内での立場：基礎研修部担当

報告：12/4 第3回現職者共通研修 研修報告

内容：テーマ 職業倫理 講師：植村健一氏 受講者 31名
日本と世界の作業療法の動向 講師：奥山貴幸氏 受講者 53名
特筆する内容なし

議案

議案 1

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：新入会員について（4名）

斎藤萌（サイウ モエ）自宅会員 92873

坂健太（サカ ケンタ）徳之島徳洲会病院 協会番号記載なし

奥野佑香（オノ ユカ）大勝病院 協会番号記載なし

里村衣織（サトウラ イオリ）鹿児島大学病院臨床技術部 協会番号記載なし

決議事項：承認

議案 2

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：会議費試算について

決議事項：新 A 案での試算では支出が収入を大幅に上回る可能性が高いため、新 A 案から 2 割削減した金額とし、来年度は下記の金額を会議費として計上することに決定。

今後、臨時総会を開催し、代議員へ会議費を導入することになった経緯を説明する予定。

副部長/部員：800 円/時間
部長/委員長：1000 円/時間
理事/監事：1200 円/時間
副会長：1400 円/時間
会長：1600 円/時間

議案 3

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：代議員総会、県オリについて

【代議員総会】

5 月中旬～下旬の平日夜間(19：30～21：00)に WEB 開催予定

【県オリ】

A 案：5 月下旬の平日夜間(19：30～21：00)に WEB 開催(案)

B 案：5 月下旬の日曜日にハイブリッド開催(WEB は北薩、大隅、離島のサテライト会場のみ)(案)

県協会の活動紹介は新たな部局で実施するのか

決議事項：県オリは B 案の方法で開催することに決定(サテライト会場の運営スタッフは要検討)

県協会の活動紹介は新たな部局で行い、紹介方法は各部局に任せる(動画・対面での説明)

議案 4

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部理事

議案：①有料の WEB 研修会における参加者の確認について

②研修会後における研修会動画の視聴について(非会員の閲覧)

決議事項：

1. 1 人 1 台の機器使用をお願いしているが、1 台の視聴機器に複数で参加している事例もある。他部署は確認をどうしているか。またどうしていくか。
2. 非会員また他職種の動画閲覧は可能とできるのか、またその是非。

議案 5

提出者：日高俊和

士会内での立場：北薩支部理事

議案：R5.1.14 公開講座 北薩支部ハイブリッド研修について

1. 手帳をデジタルにしていない会員の対応確認
2. 手帳を受付に持ってきた場合の対応確認（以前は手帳に協会印を押印）
3. 講師の懇親会費について

決議事項： 1. 受講費無料になるのは県会員 県会員の証は今年度のシールか受領書で確認
2. 現在は手帳の押印はしていない 受講登録システムへの登録のみ
日本協会会員の参加者リストを黒木まで提出する
3. 田中理事が確認する

議案 6

提出者： 西綾

士会内での立場： 副会長

議案： 会員のデータベース作成について

決議事項： 鹿児島県作業療法士協会の会員の情報についてデータ管理ができていない。どの地域にどれだけの会員が存在するかや、病院の特性などの情報を集約できていない。そのため、広報や案内などは代議員頼みになってしまいやすい。

今後は情報を活用し、会費の納入の有無などの研修時の確認のやり取りの手間を簡潔させる。情報をメール等で直接個別に発信することも可能。鹿児島県作業療法士協会の HP に関しても、会員のみがログインできるリンクなどの活用で、より会員であるメリットを高める事も可能。

*データ収集に関する詳細は坂下理事から

議案 7

提出者： 吉満

士会内での立場： 会長

議案： 協会員＝士会員に係る会員の個人情報の取り扱いについて

決議事項： 日本協会へ士会員情報を提供することの是非

議題 8

提出者： 吉満、濱添（種子島医療センター）

士会内での立場： 会長

議案： e-パラスポーツ研究会の設立について

決議事項：

1. 組織体制(会員募集なども)

コアメンバー（正会員）：各施設 1～2 名、4～5 名→県士会の会議に参加

サブメンバー（準会員）：コアメンバーの所属施設でも OK

2. 研究会の目的

動機：作業療法の新しい分野にしていきたい
鹿児島県作業療法士協会が先駆的存在になりたい
作業療法士の活躍できる分野を広げたい
社会貢献につなげる
国のプロジェクトを目指す

目的：社会貢献につなげる

ゲーム分野が作業療法の新しい分野につなげる
ゲーム分野が作業療法士の新しい分野につなげる
ゲームを通して社会参加、社会的交流につなげる
障がい者スポーツの新しい分野を作る
ピアサポート
当事者の方々のいきがいの可能性拡大を図る

3. 事業概要

・委員会・体験会・技術研修・大会開催

4. 具体的な事業計画

委員会：年12回

規定作り、大会要綱の作成（ルール作成）

体験会：委員メンバー内、県士会員、地域住民、障がい者施設での体験会

研修会：各分野の講師による講演会 年2回

各団体との協力関係を作る（交流会・意見交換会）→企業、ゲーム団体

委員による県士会員への研修会 年1回以上

技術研修：機器操作、配信技術、機器の作成

大会開催：委員内、県士会、学会、地域、全国

予算：概算50万（会議費・研修会費・機器購入費・会場費）

将来的には外部資金の獲得を目指す

5. 必要な機器関連

ゲーム機：switchは汎用性がある？ 各ゲーム機器の適用を検証

6. 研究会定款など委員で作成していく

7. プロジェクトリミット

- ・期限を設けて取り組み=2年1クール→継続の場合は効果検証を示して判断

意見がほしいこと

- ・設立後の必要な動き

議案9

提出者： 西綾

士会内での立場： 副会長

議案： 講師登録制度の報酬に関して

決議事項： 講師登録性にて、他団体からの報酬を協会の収益としその後依頼した作業療法士への報酬をどのように決定すべきかの決定が必要。

- ・協会の報酬規程に沿って行う
- ・収益の数十パーセントを協会の手数料とする

また、謝金がない場合や交通費に関しての問題も議論が必要ご意見をいただけたらと思います。

案1) 支払いは謝金の70%とする。交通費の支弁はなし

案2) 支払いは謝金規定(OTも満額)に準ずる(不足すれば県士会手出し)。交通費の支弁はなし

補足) カクイックスウィングから県協会に依頼があり 11/23 に講師を派遣した。

謝金は現在県士会に振り込まれており、謝金からどの程度手数料をとるか検討が必要

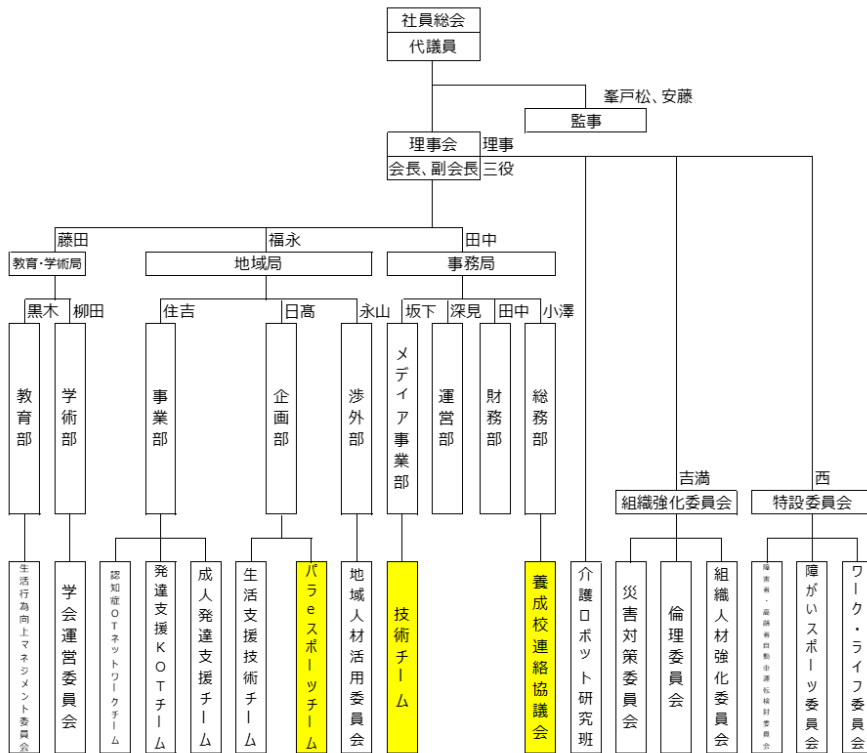
関連団体の謝金規程の比較表					
対象項目	OT協会	PT協会	ST協会	日精舎	PSW協会
	講師 外部専門家 原稿料	<報酬> 講師 論文表彰・コンテスト 執筆 <給与> 会議謝金 臨時雇用賞金 学術誌査読謝金 学術誌論文等査読謝金	講師 (研修会・講習会にお ける講演または講義)	<学会> 講演 シンポジウム 分科会 論文発表 <研修会> 講師 ファシリテーター アシスタント <査読> 全国学会 専門学会 <鑑定業務> 認定審査会 認定試験 専門領域 <その他>	講師 原稿料 査読料 監査料
<研修会謝金料>					
員・会員外の区別	あり	あり	あり	なし	あり
階分け	4段階	3段階	段階なし	3段階	4段階
教授クラス 60分	会員外 13,000 会員 6,500	66,666 20,000	40,000 20,000	14,000	25,000 8,000
准教授クラス 60分	会員外 11,500 会員 5,750	33,333 13,333	同上	12,000	22,500 8,000
講師クラス 60分	会員外 10,000 会員 5,000	同上	同上	10,000	20,000 8,000
助手クラス 60分	会員外 9,000 会員 4,500	20,000 6,666	同上		17,500 8,000
<原稿料>					
規定の有無	あり	あり	なし	なし	あり
員・会員外の区別	あり	なし			あり
仕上がりA4判 1頁につき	会員外 13,000 会員 6,500	10,000			6,000 0

議題 10

提出者： 吉満

士会内での立場：会長

議案：組織改編について



新部署の役割

事業部：3チームの研修会、会議の運営

企画部：2チームの研修会、会議の運営

渉外部：POS連絡協議会や市町村との連絡

メディア事業部：広報、オンライン研修会や会議のサポート

運営部：講師登録や講師派遣

総務部：養成校とのやりとり、会員のサポート事業（報酬改定、困りごと対応）

【その他】

次回会議：R5年1月16日（月）